



首都直下地震対応

父急死で前議会質問を欠席。今回同内容で

とだ彩光会
はやし ふう ひこ
林 冬彦 議員

Q 発災時には帰宅困難者向けの情報発信を

A 対象の明確化は市民に有用。調整する

議員 本市は働き手の約半数が市外に出ており、共働きも多いことから、大地震発生時における帰宅困難者支援は重要。災害時、市内の状況や子供を預けている学校や学童、幼稚園や保育園を含め「帰宅困難者」の方々が求める情報発信をぜひ検討いただきたい。

危機管理監 帰宅困難者は本市の状況がわかりづらい状況下に置かれることから、被害状況などについてインターネットでも速やかに情報提供を行う。ホームページは災害用に切りかえ、災害、避難場所開設、道路報、ライフラインの状況などを発信し、市内の状況がわかるようにして不安解消を目指す。帰宅困難者向けに対象を明確にした発信は市民に有用と考える。

議員 ブラックアウト（全域停電）対応はどうか。

危機管理監 昨年度は夜間発災を想定した訓練も行った。災害対策本部となる市役所や避難所となる小中学校には72時間稼働する非常用発電機を設置し、追加の燃料補給の協定も結んでいる。その他公共施設でも新築・増築の際に非常用発電機を備えるよう進める。

議員 以前要望した追加燃料の実現に感謝。発災時の夜、「光」は希望・安心になる。「人を大切にする」視点から市民の特徴を踏まえたさらなる対応を要望する。



戸田市防災ポータルサイト

市で開催されたブラックアウト訓練



こどもの居場所充実

こどもの居場所が広がるように

公明党
たけ うち まさ あき
竹内 正明 議員

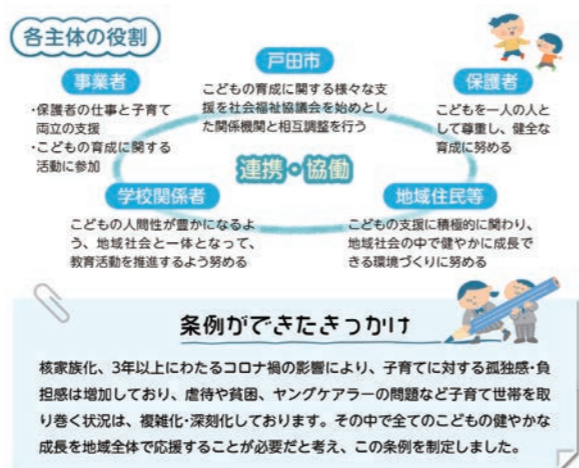
Q 小学校区に一つ以上の子ども食堂設置は

A 18団体が活動。小学校区に一つ達成

議員 子ども食堂が誕生して10年以上経過。物資の提供は一定程度広がりを見せ、次のフェーズに入ったと考える。運営の課題解決へ支援が必要だ。物資の運搬や保管などを行政で支援してはいかかが。
子ども健やか部長 全体的な課題などについては「こどもの居場所サイト」の活用や、協力団体の加入促進を通じて支援が呼びかけられるよう工夫していきたい。

議員 歩いて行ける場所、小学校区に一つ以上の子ども食堂設置を訴えてきた。改めて市の認識は。

子ども健やか部長 現在は18団体が活動しており、小学校区の数としての目標は達している。引き続き子ども食堂が、より一層地域に根付くよう支援したい。



戸田市地域で子育てを推進する条例

Q スポーツセンター建て替えによるニーズや課題は

A アンケートやヒアリングなどを行っていく

議員 スポーツセンターの建て替えに当たって、これまでのニーズや課題にどのように応えていくのか。

市民生活部長 現在、市民や利用者へのアンケート調査、関係団体へのヒアリングの準備を進めており、アーバンスポーツを含むニーズの把握や、バリアフリーなど課題の整理を行う予定。



認知症対策

認知症になっても希望をもって自分らしく！

公明党
み ね
三輪 なお子 議員

Q MCIスクリーニング検査の導入は

A 実施自治体の状況を確認していく

議員 「軽度認知障害」(MCI)の早期発見のためのスクリーニング検査導入の考えは。

健康福祉部長 引き続き早期発見に務めながら、MCIスクリーニング検査導入については実施自治体の状況を確認していく。

議員 早期発見のためにも導入を進めてほしい。また、認知症の人の行方不明者対策の強化について、服や爪などに貼れる「QRコードシール」の導入は。

健康福祉部長 手軽に身に着けられ、低コストで運用できるといった特徴があることから調査研究する。

Q 「音声のハザードブック」を導入すべき

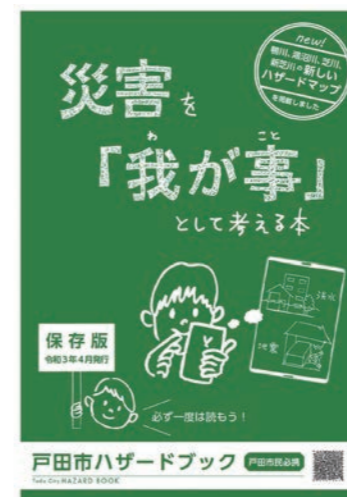
A 音声コードを取り入れている

議員 目の不自由な人やお年寄りだけでなく、日本語が読めない外国人向けにもスマートフォンで利用できる、音声による情報提供が可能な「ユニボイス」の活用は。

危機管理監 ハザードブックの改訂版に「ユニボイス」を活用する予定。



概要はこちら



その他の質問

Q 「逃げなきゃコール」を活用すべき。

A 市ホームページで周知していく。



公園のちびっ子プール

ちびっ子プールの賑わいが、公園の賑わいに！

戸田の会
の ざわ しげ まさ
野澤 茂雅 議員

Q ちびっ子プールの課題は

A 担い手不足により運営に苦慮する場合あり

議員 ちびっ子プールの利用者数減少の原因は、担い手不足による開催延べ日数(平成25年度582日、平成29年539日)の減少が一因であり、労働量に見合った補助金の増額や、外部委託の考えは。

環境経済部長 市は管理運営経費の一部補助と、消毒剤配布などでの運営支援を行っており、現状、増額の予定はないが、今後の運営状況などに注視する。外部委託は、町会が公安委員会認定の警備業者に委託する必要があり、町会運営がより地域や公園への愛着の醸成に繋がるため、引き続き町会に運営していただきたい。

議員 50年超の設備に対する大規模修繕の考えは。

環境経済部長 令和元年度に3カ所、令和3年度に1カ所の公園で大規模修繕し、今年度も3カ所を予定。

議員 運営の担い手不足を解消し、より多くの方に安全に利用していただくため以下を提案したい。外観の美化。スチール製屋根の設置等設備の充実。不要な設備の除去。プール入口外側のコンクリート化。中学生スタッフの採用。こどもの居場所・サマースクールとしての活用。小学1・2年生の受け入れ。ナイトプールの開催。季節外活用。町会運営担当者による運用事例についての情報交換。SNSでの毎日の開催案内。



公園の管理・運営ちびっ子プール